



使用禁止期間 食用に供するために水揚げする前10日間

成分及び分量 本品は1g中プラジクアンテル500mgを含有する。

効能又は効果 スズキ目魚類の体表に寄生するハダムシ (*Benedenia seriolae*) の駆除。
クロマグロを含むスズキ目魚類の住血吸虫 (*Cardicola opisthorchis*) の駆除。

用法及び用量 魚体重1kg当たり1日量プラジクアンテルとして下記の量を、水産用展着剤もしくは展着剤を含有した養魚用配合飼料と混合した後、餌料中に均一となるように添加し1日1回、3日間経口投与する。
スズキ目魚類の体表に寄生するハダムシ (*Benedenia seriolae*) の駆除 : 150mg・・・本品として0.3g
クロマグロを含むスズキ目魚類の住血吸虫 (*Cardicola opisthorchis*) の駆除 : 15mg・・・本品として0.03g

使用上の注意 使用上の注意をよく読み、用法・用量を守って正しくお使いください。
指導機関 (家畜保健衛生所、魚病診断総合センター、水産試験場等) に相談の上使用してください。
注意—使用基準の定めるところにより使用してください。

注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた医薬品ですので、使用対象動物 (スズキ目魚類) について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。

スズキ目魚類：食用に供するために水揚げする前10日間

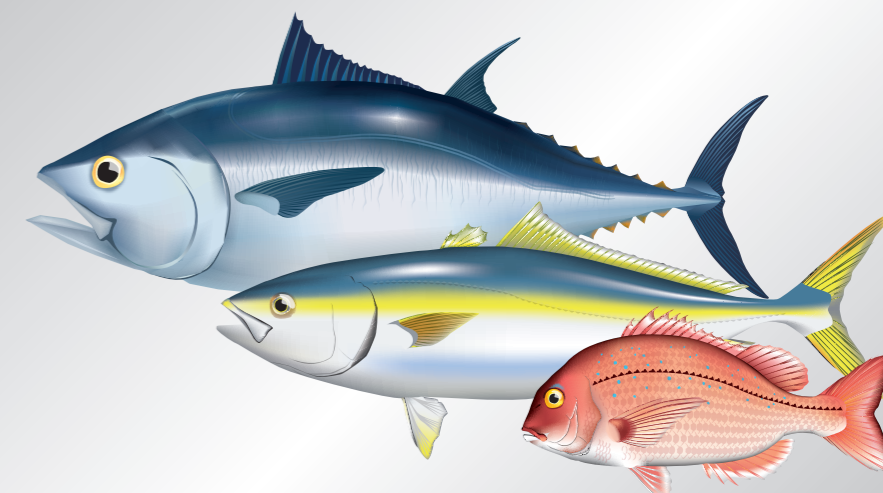
使用期限 各製品の外箱・アルミ袋をご確認ください。

包装 2kgダンボール箱 (500g×4袋アルミラミネート袋)
10kgダンボール箱 [2kg (500g×4袋アルミラミネート袋) ×5箱]

使用時のポイント 1. 必要以上に使用すると、一過性の摂餌不良が認められるため、正確に養殖尾数と魚体重を把握し、投与量を算出してください。
2. 網替えや淡水浴等の従来対策も効果的に行ってください。

スズキ目魚類経口ハダムシ・住血吸虫駆除剤 プラジクアンテル製剤

水産用ベネサール[®]



特長

水産用ベネサール (プラジクアンテル製剤) はスズキ目魚類に寄生するハダムシ (ベネデニア・セリオレ) 及び住血吸虫 (カルジコラ・オピストルキス) の駆除に優れた効果を発揮する経口投与剤です。

プラジクアンテルは魚体内に速やかに吸収された後、体表粘液に移行しハダムシを体表から剥離、及び血中に移行し心臓に寄生する住血吸虫を死亡・消失させます。

※スズキ目魚類：ぶり、カンパチ、まだい、クロマグロなど



製造販売元

あすかアニマルヘルス株式会社

東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL. 03-5439-4188 FAX. 03-5439-4191

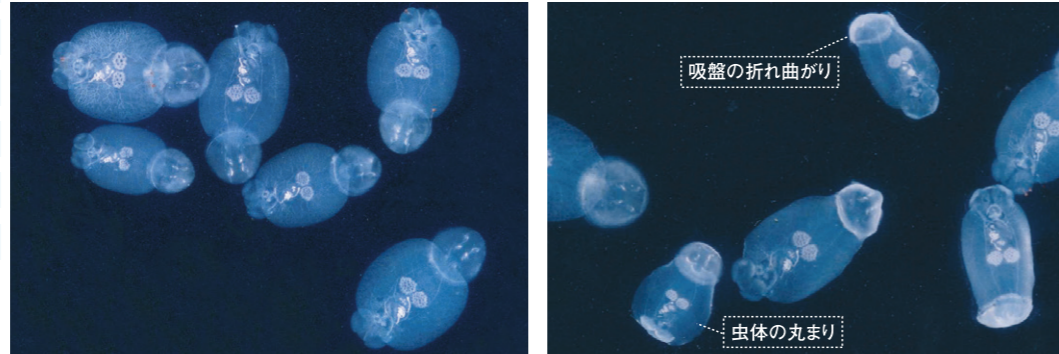


あすかアニマルヘルス株式会社

ベネサールの効果

プラジクアンテルがハダムシ(*Benedenia seriolae*)に与える影響

- 試験場所／社内試験
- 供試ハダムシ／体長4~6mm 60個体
- 試験方法／プラジクアンテル溶液(0.5 μ g/mL)に浸漬
- 結果／2時間後プラジクアンテル溶液に浸漬したハダムシは吸盤の折れ曲がりや虫体の丸まりなどにより付着能力を失った。



正常ハダムシ

プラジクアンテル溶液に浸漬したハダムシ

プラジクアンテルのハダムシ(*Benedenia seriolae*)に対する効果濃度

- 試験場所／社内試験
- 供試魚／ブリ(平均魚体重550g)
- 飼育条件／水温24 $^{\circ}$ C
- 投与方法／魚体重1kg当たりプラジクアンテルとして150mgを強制経口投与
- 結果／

プラジクアンテル濃度の推移

(μ g/g or mL)

時間	30分	1時間	3時間	6時間	12時間	24時間	48時間
血清	11.6	12.9	8.6	4.0	1.3	0.1	検出限界以下
体表・粘液	0.6	0.7	0.5	0.3	0.1	検出限界以下	検出限界以下

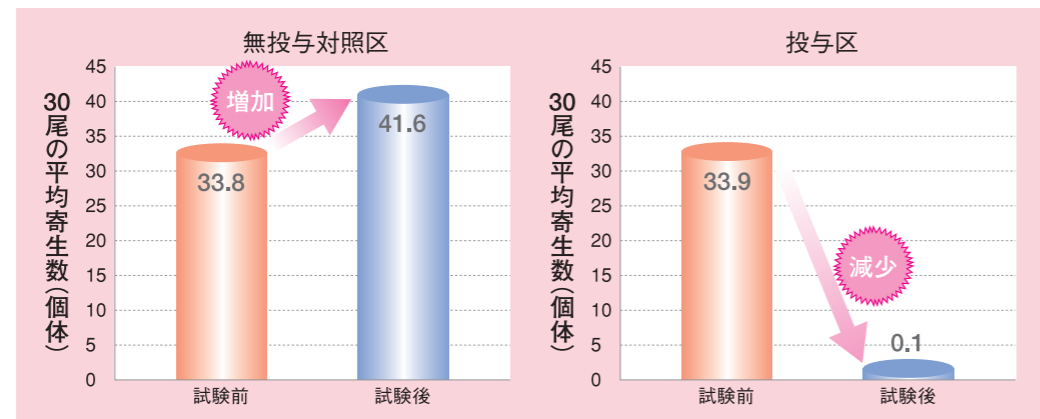
■ : ハダムシ駆除有効濃度

臨床試験によるベネサールの効果

プラジクアンテルのハダムシ(*Benedenia seriolae*)に対する効果

- 試験期間／1998年8月1日~8月21日
- 試験場所／近畿大学水産研究所 浦神実験場
- 供試魚／ブリ当歳魚(平均魚体重139g、300尾/区)
- 試験区／無投与対照区
投与区(ベネサール0.3g/kg体重/日 \times 3日間)
- 飼育条件／水温：26.1 $^{\circ}$ C~29.7 $^{\circ}$ C 飼料：シングルモイスト
- 結果／

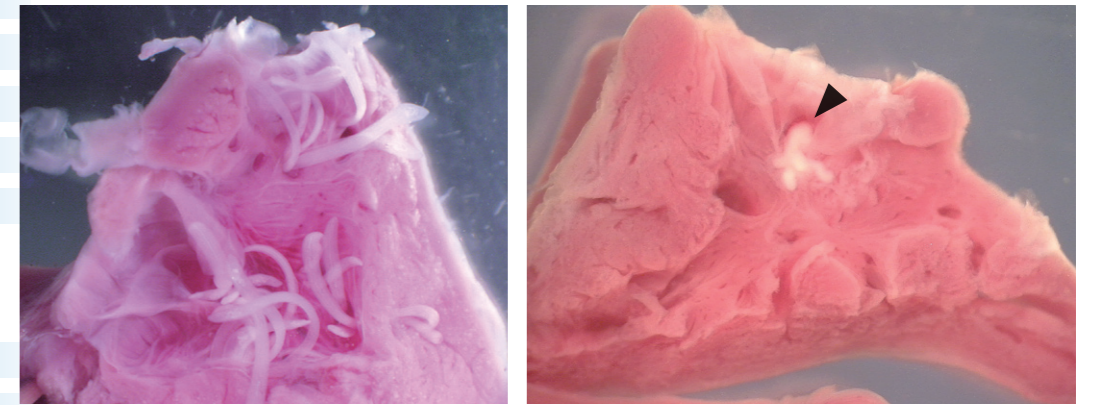
ベネサール投与によるハダムシ平均寄生数の推移



ベネサールの効果

プラジクアンテルが住血吸虫(*Cardicola opisthorchis*)に与える影響

- 試験場所／近畿大学 水産研究所
- 供試魚／住血吸虫に自然感染したクロマグロ
- 試験方法／ベネサール投与前及び投与終了後に心臓に寄生している虫体を観察
※ベネサール：0.03g/kg B.W./日 \times 3日間連続投与
- 結果／3日間投与終了後1日目に、白色の塊となった死亡した虫体を確認。
その翌日(投与終了後2日目)には、白色の塊は消失し駆除を確認。



投与前の住血吸虫(生存虫体)

投与後1日目の住血吸虫(死亡虫体：白色の塊)

※写真提供：白樫 正(近畿大学 水産研究所)

臨床試験によるベネサールの効果

プラジクアンテルの住血吸虫(*Cardicola opisthorchis*)に対する効果

- 試験期間／2012年11月16日~2012年11月20日
- 試験場所／和歌山県串本町のクロマグロ養殖場
- 供試魚／住血吸虫に自然感染したクロマグロ0歳魚
- 試験区／無投与対照区(34尾)
投与区(ベネサール0.03g/kg B.W./日 \times 3日間：40尾)
- 飼育条件／水温：18.2~20.5 $^{\circ}$ C 飼料：冷凍イカナゴ
- 結果／

投与開始前3日間(死亡魚)及び投与終了後2日目の住血吸虫の寄生数

	投与区			無投与対照区		
	平均	範囲	寄生率	平均	範囲	寄生率
投与開始前3日間	13.3	10~20	100%	10.5	5~19	100%
投与終了後2日目	0	0	0%	16.7	8~29	100%

※検査尾数 投与開始前3日間 投与区：5尾、無投与対照区：11尾
投与終了後2日目 投与区・無投与対照区：15尾

